

# 平成 1 9 年度 農作物病虫害発生予察 9 月月報

平成 1 9 年(2007年) 1 0 月 2 日  
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	26.9	25.1	1.8	31.5	29.9	1.6	23.6	21.2	2.4
9.2	25.9	24.1	1.8	31.5	29.0	2.5	21.9	20.1	1.8
9.3	25.9	23.2	2.7	31.7	28.1	3.6	21.2	19.1	2.1
9.4	27.7	22.3	5.4	31.5	27.3	4.2	25.0	18.1	6.9
9.5	26.0	21.3	4.7	30.8	26.3	4.5	23.4	17.1	6.3
9.6	23.6	20.3	3.3	28.3	25.5	2.8	20.0	15.9	4.1
平均・計	26.0	22.7	3.3	30.9	27.7	3.2	22.5	18.6	3.9
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	9.1	73	78	△ 5	22.0	30.2	△ 8.2	19.4	29.3
9.2	67	79	△ 12	3.5	32.9	△ 29.4	32.9	27.3	5.6
9.3	67	78	△ 11	13.0	31.2	△ 18.2	30.7	26.1	4.6
9.4	71	77	△ 6	24.5	28.8	△ 4.3	28.7	25.6	3.1
9.5	73	79	△ 6	7.0	27.8	△ 20.8	18.9	25.0	△ 6.1
9.6	67	78	△ 11	0.5	24.4	△ 23.9	27.7	25.9	1.8
平均・計	70	78	△ 8	70.5	175.3	△ 104.8	158.3	159.2	△ 0.9

## II 作物の生育状況

- (1) イネ : 極早生種の成熟期は早かった。中生種の出穂期はほぼ平年並みで、成熟期は早まっている。
- (2) ダイズ : 生育はおおむね順調であった。
- (3) カンキツ : 果実の肥大は平年に比べやや遅れた。
- (4) ナシ : 果実の肥大は平年に比べやや大きく、品質も良好であった。
- (5) ハクサイ、キャベツ、はなっこりー  
: 定植はおおむね順調に行われ、初期生育はおおむね良好であった。

### Ⅲ 病害虫の発生概況

#### 1 普通作物

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ(調査ほ場数： 中旬 63・下旬26) 穂いもち	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平成30.3%)、発病株率0.6%(平成7.5%)、 発病穂率0.05%(平成0.95%)で平年に比べやや 少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.2% (平成29.0%)、発病株率1.3%(平成7.5%)、 発病穂率0.3%(平成1.2%)でやや少なかった。	県内全域	少 1,671
紋枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率36.5% (平成45.4%)、発病株率4.6%(平成9.8%)、 発病度2.3(平成3.9)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.3% (平成49.4%)、発病株率8.3%(平成11.1%)、 発病度5.2%(平成4.8%)で平成並みであった。	県内全域	中 278 少 6,126 計 6,404
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率6.3% (平成15.0%)、発病株率3.3%(平成8.2%)、 発病度0.8(平成2.5)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.9% (平成17.4%)、発病株率10.8%(平成13.4%)、 発病度2.7%(平成4.6%)で平成並みであった。	県内全域	中 278 少 1,671 計 1,949
白葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成1.3%)、 発病株率0%(平成0.2%)、発病度0(平成0.03)で 平年に比べやや少なかった。定期巡回調査ほ場 以外では、下関市員光、阿武町宇生賀で発生が 認められた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成1.1%)、 発病株率0%(平成0.2%)、発病度0%(平成0.03%) でやや少なかった。	下関市 阿武町	少 2
もみ枯細菌病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率6.3% (平成1.3%)、発病株率0.3%(平成0.2%)、 発病穂率0.03%(平成0.01%)で平年に比べやや 多かった。主に中生種で発生が認められた。	県内全域	少 1,112

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ 稲こうじ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.2% (平年5.2%)、発病株率0.1%(平年 0.5%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.5% (平年10.2%)、発病株率0.5%(平年 1.0%) で平年並みであった。	県内全域	少 834
内穎褐変病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平年67.1%)、発病穂率3.0%(平年3.1%) で平年並みであった。	県内全域	中 1,390 少 11,120 計 12,510
トビイロウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率51.5% (平年24.9%)、10株当たり虫数6.8頭(平 年8.1頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率73.5% (平年31.0%)、10株当たり虫数147.1頭 (平年13.9頭)で平年に比べ多かった。 坪枯れは定期巡回調査ほ場(86ほ場)にお いて8.1%のほ場で発生し、平成17年( 4.7%)を上回った。 巡回調査経路上における視認調査では、 9月上旬に県西部、北部を中心にコシヒ カリ等極早生種において21ほ場(H17は5 ほ場)で第2世代幼虫を中心とした坪枯 れを確認した。また、9月下旬に県内全 域のヒノヒカリ等中生種において189ほ 場(H17は40ほ場)で第3世代幼虫を中心 とした坪枯れを確認した。坪枯れの発生 は近年多発した平成17年と比べ多かつ た。	県内全域	甚 835 多 835 中 2,506 少 5,292 計 9,468
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率86.4% (平年59.3%)、被害株率45.5%(平年26.9%) 、被害葉率6.0%(平年2.8%)で平年に 比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率88.0% (平年55.7%)、被害株率38.1%、(平年 29.3%)、被害葉率4.8%(平年3.4%)で平 年に比べやや多かった。	県内全域	甚 278 多 2,506 中 2,785 少 10,303 計 15,872
斑点米カメムシ 類	中旬のすくい取り調査における斑点米カ メムシ類の発生ほ場率45.5%(前年40.0%) 、20回すくい取り虫数1.2頭(前年0.7 頭)で前年に比べ多かった。	県内全域	中 557 少 835 計 1,392

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ ニカメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年1.0%)、被害株率0% (平年0.09%) で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.7%)、被害株率0% (平年0.07%) で平 年並みであった。	—	—
ダイズ 葉焼病、斑点細 菌病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年58.9%)、発病株率22.7% (平年51.8 %)、発病度4.7% (平年23.2%) で平年に 比べやや少なかった。	県内全域	中 71 少 250 計 321
葉腐病	下旬の巡回調査では発生ほ場率9.5% (平 年5.4%)、発病株率2.9% (前年0.8%) で平年に比べやや多かった。	—	多 36 少 35 計 71
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年51.3%)、1 a 当たり白変葉か所数は 0.6か所 (平年1.9か所) で平年並みであっ た。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年33.8%)、1 a 当たり白変葉か所数は 1.4か所 (平年2.4か所) で平年並みであっ た。令期は中令～老令が中心であった が、若令も確認された。	県内全域	甚 36 多 36 中 71 少 107 計 250
吸実性カメムシ 類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年56.7%)、1 m <sup>2</sup> 当たり虫数0.4頭 (平 年0.5頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平年65.9%)、1 m <sup>2</sup> 当たり虫数1.5頭 (平 年1.3頭) で平年並みであった。主要な種 は仔モンジカメシ、アオカメシ、ホソカメシであっ た。	県内全域	甚 36 多 71 中 250 少 250 計 607
マヒメヤムシガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (前年19.1%)、25株当たり被害度は0.2 (前年0.3) で前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年5.3%)、25株当たり被害度は0 (平年 0.1) で平年並みであった。	県内全域	少 107
ダイズサヤマハエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年8.9%)、200莢当たり被害莢数0.1 莢 (平年0.3莢) で平年並みであった。	県内全域	少 79

注1) ダイズは営農組合等の管理ほ場を主体に調査した。

注2) ダイズの面積は8月17日現在の市町調べ面積を元に算出した。

### Ⅲ 病害虫の発生概況

#### 2 果樹

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率95.5% (平年99.6%)、発病果率66.0% (平年71.6%)、発病度13.2 (平年16.1) で平年並みであった。	県内全域	多 322 中 644 少 724 計 1,690
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.6% (平年25.9%)、発病果率1.6% (平年3.6%)、発病度0.5 (平年1.2) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 80 少 161 計 241
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年17.3%)、発病果率0.2% (平年2.0%)、発病度0.1 (平年0.6) で平年並みであった。	県内全域	少 322
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.9% (平年23.6%)、寄生葉率9.6% (平年2.8%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 161 少 563 計 724
チャノキアザミマ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率50.0% (平年52.8%)、被害果率1.6% (平年2.6%)、被害度0.5 (平年1.1) で平年並みであった。	県内全域	少 885
ハマカイツラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% (平年32.8%)、寄生果率0.6% (平年2.0%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 482
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率13.6% (平年14.6%)、被害果率0.5% (平年0.8%) で平年並みであった。	県内全域	少 241
ナシ (調査ほ場数:10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平年87.0%)、発病葉率2.5% (平年7.2%)、発病新梢率31.2% (平年52.9%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 47 少 93 計 140
黒星病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
うどんこ病	初発生は9月6日に山口市大内で確認された。下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	山口市	少 1
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年12.0%)、寄生葉率0.1% (平年0.9%) 平年並みであった。	県内全域	少 23

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
果樹全般 カメムシ類 (チャバネカメムシ、ツヤカメムシ、クサギカメムシ)	9月1半旬～9月5半旬の予察灯(5か所計)における誘殺数は126頭(平成140頭)で平成並みであった。優占種はツヤアオカメムシであった。	県内全域	—

## Ⅲ 病害虫の発生概況

## 3 野菜

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ハクサイ(調査ほ場数:中旬5・下旬9) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1%(平成3.1%)、発病株率0.2%(平成0.2%)、発病度0.1(平成0.1)で平成に比べやや多かった。	県内全域	少 20
白斑病	中旬の調査では、発生ほ場率20.0%(平成0%)、発病株率7.6%(平成0%)、発病度1.9(平成0)で平成に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2%(平成5.0%)、発病株率2.9%(平成2.7%)、発病度0.7(平成0.7)で平成に比べやや多かった。	県内全域	少 39
べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成1.4%)、発病株率0%(平成0.1%)、発病度0(平成0.01)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成15.4%)、発病株率0%(平成6.4%)、発病度0(平成1.7)で平成に比べやや少なかった。	—	—
黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成6.2%)、発病株率0%(平成0.4%)、発病度0(平成0.1)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1%(平成10.6%)、発病株率0.7%(平成0.9%)、発病度0.2(平成0.2)で平成並みであった。	県内全域	少 20
モザイク病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。	—	—

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.9%)、10株当たり虫数0頭(平年 0.5頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.4%)、10株当たり虫数0頭(平 年1.2頭)で平年に比べやや少なかった。	—	—
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.6%)、寄生株率0%(平年0.4%)で平 年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.6%)、寄生株率0%(平年0.2%)で平 年に比べやや少なかった。	—	—
ハマダラメカイ <sup>♂</sup>	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年4.2%)、寄生株率2.8%(平年0.3%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年5.3%)、寄生株率5.3%(平年0.2 %)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 20 中 20 少 19 計 59
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、10株当たり虫数0頭(平年 0.02頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.3%)、10株当たり虫数0頭(平年 0.1頭)で平年に比べやや少なかった。	—	—
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.9%)、寄生株率0%(平年0.4%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年20.8%)、寄生株率2.4%(平年0.7 %)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 20 少 39 計 59
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年3.0%)、寄生株率0.2%(平年0.1 %)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 20
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年0%)、寄生株率0.7%(平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 59

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年9.2%)、寄生株率0.6% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	少 62
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年11.0%)、10株当たり虫数0.9頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 31
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年14.4%)、寄生株率0.3% (平年0.7%) で平年並みであった。	県内全域	少 31
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平年35.4%)、寄生株率2.7% (平年3.3%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 108
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年6.4%)、寄生株率0.2% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	少 15
ハマダラメカイ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年6.1%)、寄生株率3.7% (平年0.3%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 15 中 46 少 16 計 77
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年9.8%)、寄生株率1.8% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 31 少 62 計 93
はなっこりー (調査ほ場数: 中旬3 ・下旬5) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年0%)、発病株率0.7% (前年0%) で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (前年33.3%)、発生株率0.4% (前年1.3%)、発病度0.4 (前年1.3) で前年並みであった。	県内全域	少 5
べと病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、前年並みであった。	—	—
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年0%)、10株当たり虫数0.3頭 (前年0頭) で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年0%)、10株当たり虫数0.8頭 (前年0頭) で前年に比べ多かった。	県内全域	少 11



2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
はなっこりー コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年50.0%)、10株当たり虫数0頭(前 年1.0頭)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (前年33.3%)、10株当たり虫数0.2頭(前 年0.3頭)で前年に比べ少なかった。	県内全域	少 6
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生は認められ ず、前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (前年0%)、寄生株率0.8%(前年0%) で前年に比べ多かった。	県内全域	少 11
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (前年100%)、寄生株率3.3%(前年4.0 )で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (前年33.3%)、寄生株率13.2%(前年 2.0%)で前年に比べ多かった。	県内全域	多 6 中 11 <u>少 11</u> 計 28
オオタバコガ	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず、前年並みであった。	—	—
ハマダラメカイ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (前年50.0%)、寄生株率3.3%(前年2.0 )で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (前年33.3%)、寄生株率2.0%(前年0.7 )で前年に比べ多かった。	県内全域	中 6 <u>少 5</u> 計 11
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年0%)、寄生株率2.0%(前年0%) で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (前年33.3%)、寄生株率12.8%(前年 0.7%)で前年に比べ少なかった。	県内全域	甚 6 <u>少 11</u> 計 17

2007年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																								
野菜全般 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップにおける9月の誘殺数は、6,722頭(平年5,025頭)で平年に比べやや多かった。</p> <p><u>【参考】8/21～9/20のフェロモントラップ誘殺数</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市調東町</td> <td>562</td> <td>536</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>4,419</td> <td>4,911</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>1,731</td> <td>1,187</td> <td>多</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>794</td> <td>720</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>4,234</td> <td>2,895</td> <td>前年より多</td> </tr> </tbody> </table> <p>※阿東町の平年値は過去9年の平均値</p>	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評	岩国市調東町	562	536	平年並	周南市	4,419	4,911	平年並	阿東町	1,731	1,187	多	萩市	794	720	平年並	下関市	4,234	2,895	前年より多	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評																								
岩国市調東町	562	536	平年並																								
周南市	4,419	4,911	平年並																								
阿東町	1,731	1,187	多																								
萩市	794	720	平年並																								
下関市	4,234	2,895	前年より多																								
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップにおける9月の誘殺数は、18頭(平年44頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																								

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6
F A X	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1
テレフォンサービス	0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作 物 担 当 者

普通作：野崎(病害)	中川浩二(虫害)
果 樹：藤村(病害)	殿河内(虫害)
野 菜：岡田(病害)	畑中(虫害)